

青天の霹靂栽培講習会



7月4日、尾上地区、常盤地区、で水稻の栽培講習会が開かれました。

講習会には、各地区の水稻生産者が参加し、令和7年産米の生育状況や今後の栽培管理、追肥時期などを確認しました。



常盤地区
青天の霹靂栽培講習会



板柳地区
水稻追肥現地講習会

航空会社社員が農作業を応援



日本航空株式会社（JAL）の社員2人は6月10日から12日、「農作業応援活動」のためJA津軽みらい管内のりんご園地を訪れ、摘果作業を行いました。

参加した社員は、以前にもりんごの摘果作業を行った経験があり、慣れた手つきで作業を行いました。「豪雪被害の状況を聞いて、少しでも生産者の力になりたいと思いました。短期間の応援だが、これまで以上に頑張りたい」と話しました。



摘果作業を行う航空会社の社員

スピードスプレーヤー安全運転講習会



みなみ地区りんご共同防除連絡議会（田中祐一会長）は6月24日、JA本店でスピードスプレーヤーの安全運転講習会を開き、約60人が参加しました。

講習会では、農業・食品産業技術総合研究機構の職員が、農作業事故の事例や、事故防止対策などを説明。また、VR（バーチャリアリティ）ゴーグルを用いた事故の疑似体験も行い、参加者は安全作業への理解を深めました。



VRゴーグルで農作業事故の疑似体験をする参加者

「#あおばな」で県知事と対話



県が主催する県民対話集会「#あおばな」が、6月11日に板柳支店で開かれ、宮下宗一郎知事と板柳園芸部会の部会員が今後の地域農業について意見を交わしました。

#あおばなは、宮下知事が県民の声を聞き、県政に反映させることが目的で、今回は「持続可能な農業生産と担い手確保」をテーマに話し合いました。部会員は、雪害の現状や、物価・燃料高騰が生産に与えている影響などを知事に伝えました。



宮下知事と対話する部会員